

皮膚科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の  
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

自己免疫性水疱症の発症メカニズムの解明

[研究機関] 北海道大学病院皮膚科

[研究責任者] 氏家英之、皮膚科、講師

[研究の目的]

自己免疫性水疱症の患者様の診療情報や皮膚、血液、毛髪等を用いて病気の発症メカニズムを明らかにすることを目的として、将来的には新しい治療法を見つけ出すことです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

自己免疫性水疱症の患者さんで、昭和 64 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に皮膚科の研究用の血液や皮膚の保管に同意された方  
カルテ情報のみの利用に関しては、昭和 64 年 1 月 1 日以降に自己免疫性水疱症の治療を受けた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、皮膚、水疱内容液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分、および検査あるいは治療で採取され保管されている分）に含まれるたんぱく質やアミノ酸、および遺伝子

カルテ情報：

① 患者さんの背景情報（名前のイニシャル、生年月日、年齢、性別、診断名、発症時期・病歴、治療歴、生活歴、既往歴、家族歴など）

② 血液検査、病理組織学的検査、免疫染色検査、画像検査、採血検査結果

●利用する者の範囲

北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室で検体やカルテ情報を使用致しますが、一部の検体は、共同研究施設の理化学研究所あるいは北海道大学遺伝子病制御研究所に送付して検索を行います。また、一部のカルテ情報は、発症メカニズムの解明のために北海道大学遺伝子病制御研究所に郵送で送付することがあります。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報はありません。

\*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院皮膚科 担当医師 氏家英之、村松 憲

電話 011-706-7387 FAX 011-706-7820